

労働力調査年報を見る上での注意

【共通事項】

増減数及び増減率、構成比等の比率は、表章単位の数値から算出している。

なお、統計表中の「＊」印は、分母が小さいため比率を計算していない。

また、比率を計算する際、分子が「0」又は「－」である場合には「－」と表章している。

【基本集計 主要項目の月次・年次時系列表（Ⅰ－D－第1表、Ⅰ－D－第2表）における注意】

1. 「年」、「年度」欄に「＊」印を付してある結果数値には、沖縄県分は含まれていない。沖縄の本土復帰により、1972年7月以降、沖縄県も調査の範囲に含まれた。
2. 季節調整値は、毎年1月分結果公表時に再計算を行っており、本書に掲載している季節調整値は、2023年12月分公表時点のものである。なお、当該季節調整値の算出に当たり、X-12-ARIMAを適用した系列や適用モデルについては、「労働力調査の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更について（2023年改定）」を参照されたい。

【参考資料 都道府県別年平均結果（モデル推計値）（Ⅰ－E－第1表）における注意】

モデル推計値は、毎年1～3月期平均公表時に再計算を行っており、本書に掲載している数値は、2023年10～12月期平均公表時点のものである。

【参考資料 南関東及び近畿地域の月別結果（Ⅰ－E－第2表）における注意】

当該結果は全国の月別結果に比べ結果精度が十分に確保できないとみられることから、結果の利用に当たっては注意を要する。また、数値は全て原数値である。